

## 第254回教員会議・第157回研究科委員会 議事要録

日時：平成29年9月15日（金）13：30～15：20

場所：後援募金記念棟 会議室1-2

### ◆教員会議◆

#### [審議事項]

##### 1. 教務委員会

- (1) 平成29年度非常勤講師計画について  
資料1に基づき説明され、了承された。
- (2) 平成29年9月卒業判定について  
回収資料により単位取得や卒論提出状況が説明され、3名の9月卒業が認められた。
- (3) 非正規生（科目等履修生）の受け入れについて  
資料2に基づき2名の科目等履修生の受け入れ（継続）が了承された。

##### 2. 入学試験委員会

- (1) 福島大学入学者選抜に係る資料等の公開に関する申し合わせ（案）について  
資料3に基づき、入試に関する資料等の公開に関する申し合わせが説明され、了承された。大学院入試に関する公開基準を検討するのは学類教員会議ではなく研究科委員会となるので、記載方法を工夫して欲しい旨の発言があった。

#### [報告事項]

##### 1. 学類長

- (1) 福島大学フォーラム2017 実行委員会について  
資料4に基づき、食農学類新設をアピールすることを主目的としたフォーラムについて説明され、実施への協力が呼びかけられた。
- (2) 平成30年度国内派遣研究員の推薦について  
資料5に基づき、派遣研究員の選考スケジュールがアナウンスされた。

##### 2. 学生生活委員会

- (1) 9月卒業学生の表彰の推薦について  
該当者無しとの報告があった。
- (2) 入学科徴収猶予者の納入結果について  
9月末時点で全員が納入済である旨、報告があった。

##### 3. 教職課程委員会

- (1) 第1回教職履修部門会議について  
資料6に基づき、教職科目の開講予定がアナウンスされた。平成31年度については変更の可能性がある。

教職の再課程認定の検討情報と教員免許取得者数等について、情報提供があった。工業・情報の免許については取り下げの案となっているが、現時点では流動的である。

#### 4. ハラスメント相談員

##### (1) 平成29年度ハラスメント防止研修の実施について

資料7に基づき、10月11日にL3教室で開催される研修の概要が説明され、参加が要請された。学生の参加も可能である。

##### (2) ハラスメントアドバイザーの設置について

7月1日付けで、アドバイザーが設置されたことが報告された。

#### 5. アドミッションセンター運営会議

##### (1) 入試改革のスケジュールについて

資料8に基づき、平成33年入試に関する検討状況が報告された。課題を洗い出している段階である。

学類長より、入試改革WGでの食農学類のH31入試問題作成体制の検討状況について情報提供があった。理科と数学について、理工学類に協力要請が来る見込みである。英語は経済経営学類が協力する予定である。

報道機関に既に提供されている食農学類の入試の概要（予定）が、投影された。

前期 物理・化学・生物・数学・英語 から 2

後期 数学・英語 から 1

食農学類の入試への協力について、以下の発言があった。これらについては、教育研究評議会での戻り報告で発言し、農学系教育研究組織設置準備室にも伝えることとした。

- ・理科の出題範囲は一致しているようである。
- ・食農学類の数学の出題範囲に数 III が入っていない。範囲が不一致だと問題を共用できないため、作問の負担は2倍となりかねない。（理工と同一問題を食農で使うというような、簡単なことではない。）
- ・数学の出題に食農の教員は関与するのか？ 要望だけを述べる委員であれば、仕事を増やすだけであり、必要ない。
- ・採点ができる教員は、食農学類で確保できるのか？ 採点の負担も重い。
- ・理工でも、数学を専門とする教員は2名のみであり、負担が集中することは目に見えている。
- ・負担増加量も把握せず、関係者への打診も無く、出題範囲を公表した後に協力を要請するのは、順番が違うのではないか。
- ・作問は外注することも考えて良いのではないか。

##### (2) 高校教員向けヒアリング並びにアンケートの実施について

資料9に基づき、入試に関する課題の調査に関し、調査会社に委託してアンケート

トの実施及び10校のヒアリングを実施する等、概要について説明があった。

(3) 福井大学「高大連携探求プロジェクト」の紹介

資料10に基づき、福井大学で行なった事例が紹介された。

(4) 他大学のA0入試（一部推薦入試）の内容

資料11に基づき、他大学の事例が紹介された。

6. 奨学寄附金等の受入れについて

資料が投影され、共同研究2件が報告された。

◆研究科委員会◆

[審議事項]

1. 教務委員会

(1) 平成29年9月修了判定について

回収資料により単位取得状況と論文提出状況が報告され、博士前期課程・後期課程ともに修了者なしが決定された。

(2) 大学院博士前期課程ハイテクプラザ客員教員担当予定授業（組込みソフトウェア工学特論）の開講について

例年、ハイテクプラザ客員教員が担当予定の授業は、担当者未定で学習案内に記載されている。当該特論は後期の科目であるが、4月に履修登録が可能となっていたために6名の登録者があった。しかしながら、ハイテクプラザの研究者で開講することができなくなった。大学院生への不利益を最小化するため、学内教員および非常勤講師で開講することが提案され、了承された。

[報告事項]

1. 教務委員会

(1) 学生の休学について

博士前期課程の大学院生1名の休学が報告された。

2. 学生生活委員会

(1) 9月修了学生の表彰の推薦について

該当者無しとの報告があった。

(2) 入学金徴収猶予者の納入結果について

9月末時点で全員が納入済である旨、報告があった。

◆教育研究評議会◆

第288回（9月5日開催）報告

[報告事項]

(1) 平成30年概算要求額の伝達等について（資料1）

文部科学省から財務省に出された概算要求額について概要が報告された。地方創

生をキーワードとするような予算項目が取り上げられており、理工関連では太陽光発電をテーマとした人材養成に関する設備予算が取り上げられている。